

# 公益財団法人 おかやま環境ネットワーク

～2022年度事業・決算報告 2023年度事業計画・予算～



日生アマモ種取り

## ～ 目 次 contents ～

|                         |         |
|-------------------------|---------|
| 2022年度事業報告 .....        | P. 1～16 |
| 2022年度財務諸表等・監査報告書 ..... | P.17～21 |
| 2030年に向けた組織行動方針 .....   | P.22    |
| 2023年度の事業計画・収支予算書 ..... | P.23～24 |
| 定款 .....                | P.25～28 |

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

本誌を通じておかやま環境ネットワークについて一層のご理解を賜り、身近に感じていただければ幸いです。  
今後も変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

※活動は皆様のご支援に支えられています。ご入会・ご寄附等のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



公益財団法人 **おかやま環境ネットワーク**

Okayama Environment Network Foundation

～かけがえのない地球、未来のこどもたちへ～

# 2022年度の事業報告

(2022年04月01日～2023年03月31日)

## 1. はじめに

- ①理事及び監事の改選とともに、代表理事の交代を行ないました。
- ②新型コロナウイルス感染による事業進捗が緩和されたことから、ほぼ予定通り計画した事業を実施することができました。
- ③今年度新設した「おかやまの豊かな自然とくらしを考える部会」は、今後の事業展開に向けた計画づくりを進めました。

## 2. 公益事業1

### (1) 助成事業

#### ①助成活動報告会

- 1) 2021年度の助成5団体による報告会を、5月14日オンラインで実施しました。2022年度の助成団体も参加し、助成活動報告の提出方法等も確認しました。

|   | 助成団体名 (2022年度)   | 助成企画名                           |
|---|------------------|---------------------------------|
| 1 | あかいわ美土里の和        | 里山再生プロジェクト                      |
| 2 | つやま演劇教育研究会       | 演劇・番組製作を介した環境問題啓発事業の周知・促進       |
| 3 | おかやまエコマインドネットワーク | プラスチックごみから川や海そして子どもたちを守ろう       |
| 4 | 岡山学芸館高等学校        | アマモ実生苗の本葉展開条件の研究および日生町米子湾ベントス調査 |
| 5 | あかいわエコメッセ        | 第22回あかいわエコメッセ                   |
| 6 | なださきホテルの会        | 年間活動事業                          |

#### ②助成部会

- 1) 2022年度は、6団体70万円の助成を行いました。

| 年度   | 団体数 | 金額  | 年度   | 団体数 | 金額  | 年度   | 団体数 | 金額    |
|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-------|
| 1999 | 5   | 65  | 2008 | 15  | 150 | 2017 | 8   | 100   |
| 2000 | 7   | 100 | 2009 | 11  | 94  | 2018 | 5   | 54    |
| 2001 | 13  | 110 | 2010 | 10  | 93  | 2019 | 8   | 102   |
| 2002 | 13  | 137 | 2011 | 12  | 100 | 2020 | 5   | 66    |
| 2003 | 16  | 150 | 2012 | 6   | 90  | 2021 | 9   | 97    |
| 2004 | 11  | 102 | 2013 | 8   | 102 | 2022 | 6   | 70    |
| 2005 | 15  | 147 | 2014 | 10  | 126 |      |     |       |
| 2006 | 15  | 129 | 2015 | 11  | 175 |      |     |       |
| 2007 | 12  | 120 | 2016 | 9   | 95  | 合計   | 240 | 2,574 |

- 2) 2023年度の助成申請の審査、助成募集要項及び助成活動報告の開催協議を行い、6団体への助成を理事会で承認しました。
- 3) 助成団体が企画する行事等に事務局が参加し、助成金の使用状況等を含め情報収集を図りました。

| 日程        | 企画名称など                                   | 備考   |
|-----------|------------------------------------------|------|
| 04/17 (日) | 美土里の和総会                                  |      |
| 04/24 (日) | グリーンパートナー主催「与島櫃石島クリーン大作戦 2022」           |      |
| 06/18 (土) | 美土里の和主催「碧山陰陽石に沈む夏至の夕日とホテルを見る会」           | 助成対象 |
| 06/26 (土) | エコマインド主催<br>「プラスチックごみから川や海、そして子どもたちを守ろう」 | 助成対象 |

|           |                              |      |
|-----------|------------------------------|------|
| 08/07 (土) | 美土里の和主催「磐山で作ろう！夏休みオリジナル木工教室」 | 助成対象 |
| 08/07 (土) | あかいわエコメッセ主催「チェルノブイリ法日本版を学ぼう」 | 助成対象 |
| 10/10 (月) | 美土里の和主催「クイズなどで楽しく学ぶ環境学習会」    | 助成対象 |

## (2) ホタル保護事業

### ①ホタル団体交流会

- 1) 交流会は、4月・8月・10月・1月の開催となりました。
- 2) 8月度交流会では、22年の県内各地の飛翔情報と水温調査等のデータを持ち寄りました。3月～4月の少雨の影響もあり多くの地点で昨年より幼虫上陸が遅かったが飛翔はほぼ同じタイミングだったこと、飛翔数は地点ごとで多寡があったこと等が報告されました。2/1起点の積算温度400℃超過によるゲンジボタルの上陸タイミングや三方コンクリート用水路でも地元の理解と協力が得られれば飛翔数が増えること、陸生ホタル幼虫の同定は引き続き課題とすることなどを確認しました。
- 3) 交流会として、4会場（村田製作所ビオトープ、西大寺山南ホタルの里、奥迫川ホタル、御津大野川）でのホタル観察会を実施し、ゲンジとヘイケの点滅の違いやホタル保全のための地元の方々の継続した努力が行われていることなどを学びました。

## (3) 里海づくりの研究・交流

### ①里海づくり推進部会

- 1) 部会は、5月・7月・9月・11月・1月、3月の開催となりました。

### ②アマモ場再生活動支援

- 1) 日生でのアマモ場再生活動は、例年通りの市民参加型のアマモ種取り（6月）、アマモ種選別&種まき（9月）を開催しました。アマモの役割（産卵場・餌場・隠れ場、酸素の発生、ブルーカーボン、水温上昇の抑制など）や日生町漁協の漁師の皆さんが40年近く再生活動に取り組まれていることなどを学び、実際の船上作業などを体験しました。

### ③シンポジウム

- 1) 新型コロナ禍の影響で3年連続開催延期とした『里海シンポジウムin笠岡～豊かな海の再生・増やそう海の応援団～』は、地元笠岡の意向を受け2023年度の夏に開催することにしました。

## (4) 山・里・川保全の研究・交流

### ①おかやまの豊かな自然とくらしを考える部会（略：自然とくらし部会）

- 1) 部会は、4月・6月・8月・10月・12月・1月・3月の開催となりました。
- 2) 活動の具体化に向けたロードマップづくりの協議は具体化できませんでした。次年度に部会設置をお知らせするシンポジウムを開催していくことなどの協議を進めました。

### ②部会視察の実施

- 1) 県内で活動している団体等との交流を図ることを目的に、倉敷市立自然史博物館（4月）、倉敷由加蚩遊の水辺（6月）、龍泉寺の自然を守る会（9月）、あかいわ美土里の和（10月）の視察を行いました。

## (5) 環境家計簿活動事業

### ①環境家計簿登録モニター

- 1) 2021年のモニター数は、125世帯（前年129世帯）となりました。2020年と2021年の連続2年間分の全データが揃った103世帯の実績集計では、2020年比では1世帯当たりのCO2排出量は95.7%と減少、2013年比では63.1%と大きく減らすことが出来ています。

### ②環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダー

- 1) モニター実績をまとめ、岡山市と協働で環境家計簿レポート（6月）を発行しました。
- 2) 各家庭でのエネルギー使用の抑制、外出先でのゴミ捨て方やエシカル消費の視点など、

環境にやさしいくらしの実現に役立つ情報を分かり易く提供するツールとして、岡山市と協働で環境家計簿カレンダー（12月）を発行しました。

| 月   | テーマ                        | 月   | テーマ         |
|-----|----------------------------|-----|-------------|
| 01月 | 地球温暖化の影響                   | 07月 | オーバーシュート・デー |
| 02月 | ZEH                        | 08月 | 生ごみの大半は水分   |
| 03月 | 住宅の断熱性能見直し                 | 09月 | 家電買替効果      |
| 04月 | エシカル消費                     | 10月 | 電気自動車       |
| 05月 | プラスチック問題                   | 11月 | エコドライブ      |
| 06月 | 食糧危機 異常気象                  | 12月 | 瀬戸内海のいま     |
| 特集  | ①バックキャストと行動変容 ②30by30とOECM |     |             |

3) 環境家計簿委員会では、環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダーの原稿作成を進めました。

#### (6) エネルギー問題と気候変動、さまざまな廃棄物への対応、食糧危機への対応

##### ①学習会の具体化

- 1) 2030年に向けた組織行動方針で掲げたテーマへの対応具体化に向け、理事等の学習会を開催しました。学習会の内容は、ネットワーク・ニュースに掲載しました。
- 2) 10月に、望月靖氏（岡山県環境保健センター所長）を講師に「岡山県環境保健センターの業務と岡山県気候変動適応センターについて」を開催しました。
- 3) 11月に、上田健二氏（環境省中国四国地方環境事務所長）を講師に「Sustainabilityが導く地域の未来（最近の環境政策のトピックス）」を開催しました。
- 4) 1月に、久山順二氏（岡山県環境文化部長）と中田千佳子氏（岡山県環境文化部長 新エネルギー・温暖化対策室長）を講師に、「岡山県環境基本計画（エコビジョン2040）の概要について」、「新エネルギー・温暖化対策室の業務について」を開催しました。

##### ②県内団体・個人とのネットワークづくりと情報収集

- 1) 今後の団体・個人等とのネットワークづくりに向け、引き続き事務局の情報収集を図りました。

#### (7) 協働事業：他団体や行政などとの関係

##### ①水環境フォーラム

- 1) (社)日本水環境学会中国四国支部岡山地域分科会、岡山理科大学環境教育地域支援研究会が6月に開催した水環境フォーラムは、「中国・四国での水環境活動と地方都市の持続可能性」として、支部表彰団体（団体・個人）の受賞報告の後、藤田浩史氏（真庭市産業観光部農業振興課農政企画室・室長）「循環による持続可能なまちづくり」、上山隆浩氏（西粟倉村・地方創生特任参事）「地域資源を活用した地方創生の取組」の講演をオンラインで行いました。将来の自治体財政や低炭素な町づくりをイメージして如何に勝ち残るかをバックキャストして今どんな行動を起こすことが求められているかを具体化した事例を学ぶ機会となりました。

##### ②「アマモ播種ポット作成教室」

- 1) 地域と世代をつなぐ里海づくりの一環として、毎年備前市立日生西小学校で実施している作成教室は、昨年同様、日生西小学校と日生中学校をオンラインで結び、田中丈裕氏（NPO法人里海づくり研究会議理事）によるアマモの役割説明の後、おかやまコープ岡山東エリアの組合員などの支援を受け、それぞれの教室（児童19名・生徒38名）でアマモの種で播種ポットを作成しました。児童はポットでの発芽と成長過程を観察した後、2月9日に鹿久居島の海岸に潜水作業で定植しました。

- 2) 笠岡市の神内小学校でのアマモ播種ポット作成教室は、おかやまコープ井笠エリアの組合員の支援などを受け、12名の児童を対象に、日生西小学校同様の内容で開催しました。1月22日に神島寺間の海岸に児童参加で定植しました。

### ③行政等との関係

| 組織名    | 委員会等   | 開催                                                   |
|--------|--------|------------------------------------------------------|
| 備前市    | 専門部会など | 4/25、6/3 WS、9/16 ブランド研修会、10/13、11/4、12/21            |
|        | 企画など   | 6/16・6/30ガイド講習会、7/3聞き書き甲子園地域発表会、9/23備前市民対象アマモ種選別&種まき |
| 瀬戸内市   | 情報交換   | 9/26                                                 |
| 旭川かいぼり | 実行委員会  | 9/26、11/30、2/22竹枝小学校いきもの観察発表会                        |

- 1) 岡山市との協働による「環境家計簿レポート」「環境家計簿カレンダー」を発行しました。引き続き、岡山市以外の市町との協働発行について実現の可能性を探ります。
- 2) 備前市の里山ブランド推進協議会with ICM」の専門委員会は、出席者の意見交流や協議を通じて事業内容等を具体化させる方式となり、協議によって備前市民のみを対象としたアマモの種選別&種まき体験企画が具体化され多くの市民が初めてアマモ場再生活動に参加しました。また、教育庁部門との情報交換を行い、今後の情報交流の基盤づくりを図りました。
- 3) 瀬戸内市生活環境部門との情報交換の機会を得て、瀬戸内市観光協会、岡山村田製作所と共に今後の情報交流の基盤づくりを図りました。
- 4) 旭川かいぼり調査は、新型コロナ禍の影響から今回も一般市民の参加を見送り、地元御津竹枝地区と岡山理科大学との定点観測を行いました。地元で開催した振り返り会には、活性協議会や竹枝小学校の校長・教頭先生も参加し、今後の進め方について活発な意見交換が行われました。

### ④各団体との関係

- 1) 「市民のための環境講座」等では、大野川いい川づくり、特定非営利活動法人里海づくり研究会、岡山野生生物調査会、公益財団法人水島地域環境再生財団、ままかり普及委員会、岡山淡水魚研究会、岡山野鳥の会等と共催による事業をすすめました。

## (8) コープフェスタ

### ①ネットワークでのブース展示

- 1) 新型コロナ感染状況により、今年度もフェスタは中止となりました。

## (9) 広報、事業決算報告、ニュース発行

- ①メールニュースの発行(月2回)とホームページやfacebookの更新で、情報報告をすすめました。関係団体による発信要望を含め、行事案内をすすめました。
- ②活動紹介パンフレットや事業・決算報告書を様々な機会に配布し、活動紹介とともに新規会員の獲得を図り、13会員(個人12・団体1・企業0)の入会がありました。
- ③財団設立20周年記念シンポジウムを端緒にした県内全自治体への情報発信の継続を進めました。
- ④情報発信ツールが整備されていない団体が多数ある中で、団体間のネットワークづくりに向け、SNSなど共通媒体のさらなる活用とホームページのリニューアルを進めます。

## 3. 公益事業2

### (1) 市民のための環境講座

#### ①企画状況

- 1) 環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促すことを目的に、企画を進めました。

| 日程        | 企画名称など                           |
|-----------|----------------------------------|
| 04/29 (水) | 大野川「筍掘り&竹林の管理と野鳥観察」              |
| 05/28 (土) | 村田製作所ビオトープ「ホタル鑑賞会」               |
| 06/04 (土) | 西大寺一宮「山南ホタル観察会」                  |
| 06/05 (日) | 灘崎町「なださき奥迫川ホタル観察会」               |
| 06/11 (土) | 大野川「ホタル調査会」                      |
| 08/01 (月) | 備北エリア「海のごみはどこから来たの? (講師:みずしま財団)」 |
| 10/16 (土) | 大野川「いきもの調査会」                     |
| 11/06 (日) | 御津竹枝「旭川かいぼり調査 (かいぼり調査実行委員会)」     |
| 中止        | ひなせうみラボ・座学「わたしたちの暮らしと海」          |

## ②概要

- 1) 大野川で開催した筍掘り&竹林の管理と野鳥観察では、上流部での産業廃棄物処理場の開発計画への対応が継続されていることの話聞いた後、竹林に移動し筍掘りを行ないました。竹の根の伸びる方向や筍の付き方や鍬の入れ方を学んで竹林に入りました。今年は4月中旬以降降雨が連続したことから大量の収穫となりました(竹林整備は、前日の降雨のため中止)。その後、岡山野鳥の会の支援で、大野地区を歩きながら春に確認できる野鳥観察を行い、20種類近くの姿やさえずりを確認することが出来ました。

## (2) 体験プログラム

### ①企画状況

- 1) 次代を担う子どもの参加する取り組みを大切に考え、自然にふれ親しみ、自然との共生、自然の大切さ、いのちのつながりなどを伝え、自然環境や普段の暮らしを考えるきっかけをつくることを目的に企画を進めました。

| 日程        | 企画名称など (カッコ内はおかやまコープとの共催企画など)        |
|-----------|--------------------------------------|
| 04/09 (土) | 村田製作所「ビオトープ子ども企画①食べられる野草観察と試食会」      |
| 06/04 (土) | 日生「アマモ種取り体験」                         |
| 07/30 (土) | 村田製作所「ビオトープ子ども企画②ライトトラップ」            |
| 08/06 (土) | 村田製作所「ビオトープ子ども企画③セミ抜け殻調査&ガサガサ」       |
| 08/20 (土) | 大野川「川あそび」                            |
| 09/17 (土) | 御津「秋の猛禽の渡り観察会」                       |
| 09/24 (土) | 日生「アマモ種選別&種まき体験」                     |
| 09/27 (火) | 笠岡市立神内小学校「アマモ播種ポット作成教室」              |
| 10/07 (金) | 備前市立日生西小学校「アマモ播種ポット作成教室」             |
| 10/16 (日) | 美咲町「みんなで楽しむ秋の里山と田んぼビオトープ」            |
| 10/25 (火) | 岡山学芸館高校「アマモ播種ポット作成教室」                |
| 中止        | 村田製作所「ビオトープ・子ども企画③実のなる樹木観察と、木の実を味わう」 |
| 02/18 (土) | 村田製作所「ビオトープ・子ども企画④ビオトープで見られる野鳥観察」    |

## ②概要

- 1) 村田製作所のビオトープでは、岡山県自然保護推進員の山田氏、橋本氏を講師に、夏休み子ども向けに、おもいきり遊びながら自然について学んでもらうことを目的に、セミの抜け殻集めと池に棲むいきもの調べを開催しました。集めた抜け殻を子どもたちが分類してみると、4年間の定点観測の結果、クマゼミは2019 (226) →2020 (278) →2021 (271) →2022 (248)、アブラゼミは2019 (29) →2020 (17) →2021 (64) →2022 (100)、ニイニイゼミ2019 (46) →2020 (15) →2021 (21) →2022 (18)、ツクツクボウシは2019 (0) →2020 (1) →2021 (0) →2022 (1) と変化していることが分かりました。

2) 岡山野鳥の会の支援を受け、子育てを終えて東南アジアなど南方にわたるタカの仲間（ハチクマ・サシバ）が、上昇気流をつかまえてタカ柱を作りながら西方に飛んでいく観察会を開催しました。台風14号接近中で渡り観察には厳しい条件の中でしたが、全部で21種類を確認できました。ハチクマ（8）・サシバ（4）以外に、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ツミ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、イカル、カルガモ（鳴）、アオゲラ（鳴）、モズ（鳴）、メジロ（鳴）。

#### 4. 事業共通

##### (1) 今後の公益事業取り組みへの情報収集

①次年度以降の環境講座等の企画に関する情報収集、県内で環境に関わる企画を主催している団体等との交流やネットワークづくりを図ること、2030年に向けた事業テーマに関する継続的な情報収集を目的に、各種行事等への事務局参加をすすめました。

##### 【森・里・川・海などの生態系保全への対応】

| 日程       | 企画名称など                                       | 会場など         |
|----------|----------------------------------------------|--------------|
| 04/02（土） | 山焼き隊他「蒜山の草原を守ろう！山焼き草原保全活動」                   | 蒜山鳩ヶ原        |
| 04/03（日） | 白賀溪谷視察                                       | 鏡野町富地区       |
| 04/10（日） | 岡山県自然保護センター・ボランティア研修                         | 岡山県自然保護C     |
| 04/14（木） | ホタル幼虫上陸観察（ゲンジボタル）                            | 灘崎奥迫川        |
| 04/15（金） | ホタル幼虫上陸観察（ゲンジボタル）                            | 灘崎奥迫川        |
| 05/07（土） | 山焼き隊他「サクラソウと蒜山の春」                            | 蒜山鳩ヶ原        |
| 05/07（土） | ほくぼろホタル学                                     | 北房文化C        |
| 05/15（日） | 重井薬用植物園「吉井川ハマウツボと砂地のいきもの観察会」                 | 西大寺浜         |
| 05/20（金） | 環境省・GEOC「国際生物多様性の日2022シンポ」                   | オンライン        |
| 05/21（土） | 水産環境保全委員会<br>「シンポ相次ぐ海の異変、ベントス・付着生物から探る解明の糸口」 | オンライン        |
| 05/22（日） | 「社会人大学生物学部『植物学科』①（波田善夫氏）」                    | 岡山県自然保護C     |
| 05/26（木） | 日本環境学会「産官学民コラボレーションによる環境創出出版記念①」             | オンライン        |
| 05/29（金） | 山焼き隊他「蒜山草刈り山の生き物保全教室」                        | 蒜山鳩ヶ原        |
| 06/01（水） | ホタル観察（ゲンジボタル）                                | 湯郷大谷川・美作市河会  |
| 06/02（木） | 中環審「自然環境部会野生生物小委員会②」                         | オンライン        |
| 06/03（金） | ホタル観察（ゲンジボタル）                                | 浅口市上竹        |
| 06/07（火） | 環境省「令和4年度外来生物対策のあり方検討会」                      | オンライン        |
| 06/07（火） | ホタル観察（ゲンジボタル）                                | 高梁市福地        |
| 06/08（水） | 里山里海交流館しんびお視察                                | 北房下皆部        |
| 06/08（水） | ホタル観察（ゲンジボタル）                                | 北房ほたる公園      |
| 06/09（水） | 旭の自然を守る会視察                                   | 美咲町西井和       |
| 06/09（水） | ホタル観察（ゲンジボタル）                                | 灘崎奥迫川・由加蛭遊の里 |
| 06/12（日） | 山焼き隊他「夏の草原保全活動花咲く草原の夏草刈り」                    | 蒜山鳩ヶ原        |
| 06/19（日） | 「社会人大学生物学部『植物学科』②（波田善夫氏）」                    | 岡山県自然保護C     |
| 06/21（火） | 笠岡市稚魚放流事業                                    | 笠岡外浦漁港       |
| 06/23（木） | 日本環境学会「産官学民コラボレーションによる環境創出出版記念②」             | オンライン        |
| 06/26（日） | ホタル観察（ヒメボタル）                                 | 由加蛭遊の里       |
| 06/28（火） | 寄島アッケシソウ観察                                   | 寄島町三郎島       |

|           |                                                                   |              |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|--------------|
| 07/04 (月) | ホタル観察 (ゲンジ・ヘイケ・ヒメ・オバ・マドボタル)                                       | 津黒いきものふれあいの里 |
| 07/05 (火) | ホタル観察 (ヒメボタル・オバボタル)                                               | 備前市内         |
| 07/07 (木) | 中環審「自然環境部会野生生物小委員会⑳」                                              | オンライン        |
| 07/10 (日) | 湿地ボランティア体験                                                        | 岡山県自然保護 C    |
| 07/20 (水) | ホタル観察 (ゲンジ・ヘイケ・ヒメ・オバ・マドボタル)                                       | 津黒いきものふれあいの里 |
| 07/24 (日) | 「社会人大学生物学部『植物学科』」③ (波田善夫氏)                                        | 岡山県自然保護 C    |
| 07/29 (金) | 日本環境学会「産官学民コラボレーションによる環境創出出版記念③」                                  | オンライン        |
| 07/31 (日) | うみもりプロジェクト                                                        | 邑久町裳掛        |
| 08/10 (水) | 中環審「自然環境部会④」                                                      | オンライン        |
| 08/18 (木) | 北海道他「OECMー新しい自然保護区の可能性と課題」                                        | オンライン        |
| 08/21 (日) | 「社会人大学生物学部『植物学科』」④ (波田善夫氏)                                        | 岡山県自然保護 C    |
| 08/26 (金) | 日本環境学会「産官学民コラボレーションによる環境創出出版記念④」                                  | オンライン        |
| 09/03 (土) | 日本湿地学会「特別セッション・北海道の湿地をどう守る？」                                      | オンライン        |
| 09/08 (木) | 中環審「自然環境部会野生生物小委員会㉑」                                              | オンライン        |
| 09/09 (金) | EnVision 環境保全事務所「環境省自然共生サイトに関する勉強会」                               | オンライン        |
| 09/15 (木) | 中環審「水環境・土壌農薬部会」                                                   | オンライン        |
| 10/01 (土) | 笠岡アマモ種選別&種まき                                                      | 笠岡外浦漁港       |
| 10/09 (日) | 湿地ボランティア体験                                                        | 岡山県自然保護 C    |
| 10/17 (月) | ブルーカーボン・ネットワーク<br>「第3回ブルーカーボン・ネットワーク・セミナー」                        | オンライン        |
| 10/23 (日) | 湿地ボランティア体験                                                        | 岡山県自然保護センター  |
| 10/23 (日) | ほくぼろホタル学                                                          | 北房文化 C       |
| 10/26 (水) | 北海道生物多様性保全ダイアログ<br>「生物多様性と農業・土地利用～食糧生産との両立に向けて」                   | オンライン        |
| 11/01 (火) | 環境省「ABS 指針フォローアップ検討会」                                             | オンライン        |
| 11/08 (火) | 環境省・農水省「生物多様性影響評価検討会総合検討会」                                        | オンライン        |
| 11/10 (木) | 岡山県「全国なぎさシンポジウム in 岡山」                                            | おかやま未来ホール    |
| 11/16 (水) | 蒜山自然再生協議会「鷲谷いずみ先生講演会」                                             | 勝山高校蒜山校地     |
| 11/18 (金) | 環境省「エコ・ファーストシンポジウム」                                               | オンライン        |
| 11/20 (土) | 蒜山自然再生協議会「蒜山防火帯草寄せ&茅刈り体験会」                                        | 蒜山鳩ヶ原        |
| 11/21 (月) | 環境省「自然系調査研究機関連絡会議 (NORNAC25)」                                     | オンライン        |
| 11/21 (月) | 森林総合研究所「森林産業コミュニティ・ネットワーク (FICoN) 第5回ウェブ検討会 (木質バイオマスエネルギー利用のあり方)」 | オンライン        |
| 11/24 (木) | 林野庁「国有林野事業業務研究発表会」                                                | オンライン        |
| 12/01 (木) | 環境省「希少野生動植物種専門家科学委員会」                                             | オンライン        |
| 12/03 (土) | 広島湾さとうみネットワーク「さとうみフェスタ 2022 ～海から始まる、未来の話をしよう～」(～12/04)            | 広島市内         |
| 12/16 (金) | 北海道生物多様性保全ダイアログ<br>「再生可能エネルギーと生物多様性保全の両立」                         | オンライン        |
| 12/21 (水) | 環境省「ウォータープロジェクト『ベストプラクティス塾』」                                      | オンライン        |
| 12/26 (月) | 環境省「生物多様性条約 COP 15 第2部結果報告会」                                      | オンライン        |
| 01/09 (月) | 落合野鳥の会定例会                                                         | 真庭市美作落合駅周辺   |
| 01/10 (火) | 農水省「新農水省生物多様性戦略検討会」                                               | オンライン        |
| 01/13 (金) | 環境省「OECMの設定・管理の推進に関する検討会」「30 by 30に係る経済的インセンティブ等検討会」              | オンライン        |
| 01/14 (土) | 日本自然保護協会「モニ1000 里地調査 全国講習 / 交流会」                                  | オンライン        |

|           |                                                         |       |
|-----------|---------------------------------------------------------|-------|
| 01/24 (火) | EPO中部「生物多様性主流化フォーラム in 中部 OECMを通じた企業の生物多様性保全活動」         | オンライン |
| 01/25 (水) | JEEF「環境リーダーシップ講座②世界各地における生物多様性保全のアプローチ～保全の現場を知る～」       | オンライン |
| 02/01 (水) | 環境省「化学物質と環境に関する政策対話」                                    | オンライン |
| 02/03 (金) | JEEF「環境リーダーシップ講座③生物多様性保全活動の新たな視点を得る」                    |       |
| 02/04 (土) | 京山公民館「京山ホテル・トーク」                                        | 京山公民館 |
| 02/07 (火) | ESD-J「私たちの暮らしと生物多様性～生物多様性の最新の動向を読み解く」                   | オンライン |
| 02/08 (水) | 林野庁「林業イノベーション推進シンポジウム～林業と異分野をつなぐプラットフォームを構築し、新たな価値を創出～」 | オンライン |
| 02/13 (月) | 環境省「次期生物多様性国家戦略（素案）パブコメ説明会」                             | 岡山クレド |
| 02/14 (火) | 中環審「中環審総会」                                              | オンライン |
| 02/14 (火) | 環境省「シンポ・気候変動×生物多様性から考える豊かな地域の未来」                        | オンライン |
| 02/14 (火) | ESD-J「生物多様性国家戦略（案）に対するパブコメ提出のための勉強会①」                   | オンライン |
| 02/17 (金) | JEEF「環境リーダーシップ講座④プロジェクトを成功させるために～計画の作り方～」               | オンライン |
| 02/19 (土) | 環境省「IPBESシンポ・持続可能な将来に向けて、自然の価値とわたしたちの価値観を問い直す」          | オンライン |
| 02/21 (火) | ESD-J「生物多様性国家戦略（案）に対するパブコメ提出のための勉強会②」                   | オンライン |
| 02/25 (土) | ウータン「COP15で何が決まり、私たちはどう行動すればいいのか？」                      | オンライン |
| 02/27 (月) | FICON「検討会・森林ニュービジネスの可能性を探る」                             | オンライン |
| 02/28 (火) | 環境省「ウォータープロジェクト『グッドプラクティス塾』」                            | オンライン |
| 03/01 (水) | 環境省他「水辺からはじまる生態系ネットワーク全国フォーラム」                          | オンライン |
| 03/05 (日) | 環境省「『令和の里海づくり』～里海を知る1日～おかやま『学び』と『食』のトークショー」             | オンライン |
| 03/07 (火) | 農水省「新農林水産省生物多様性戦略検討会」                                   | オンライン |
| 03/08 (水) | 林野庁「森林クレジットの今がわかる！～J-クレジット制度活用促進セミナー～」                  | オンライン |
| 03/19 (日) | とくしま生物多様性活動推進協議会「とくしま生物多様性活動推進フォーラム」                    | オンライン |
| 03/20 (月) | 環境省「化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会」                               | オンライン |
| 03/21 (火) | ほくぼうホテル学                                                | 北房文化C |
| 03/23 (木) | ホテル観察（ゲンジボタル幼虫）                                         | 灘崎奥迫川 |
| 03/25 (土) | 神戸市「神戸からはじまる！未来へつなぐ生物多様性」                               | オンライン |

## 【エネルギー問題を踏まえた気候変動への対応】

| 日程        | 企画名称など                                                  | 会場など  |
|-----------|---------------------------------------------------------|-------|
| 04/08 (金) | 中環審：地球環境部会・総合政策部会炭素中立型経済社会変革小委員会④                       | オンライン |
| 04/21 (木) | 経産省・環境省・農水省・国交省合同：再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会①   | オンライン |
| 04/21 (木) | 中環審：地球環境部会総合政策部会炭素中立型経済社会変革小委員会⑤                        | オンライン |
| 04/21 (木) | エネルギー研究会：2022年3月22日需給逼迫は何が原因だったのか                       | オンライン |
| 04/26 (火) | IPCC 報告書連携シンポ：変動の影響はどうなる？どう対応する？～IPCC 第6次評価報告書と日本の研究報告～ | オンライン |

|           |                                                                            |             |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 04/27 (水) | 経産省・環境省・農水省・国交省合同：再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会②                      | オンライン       |
| 05/12 (木) | 経産省・環境省・農水省・国交省合同：再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会③                      | オンライン       |
| 05/13 (金) | エネルギー研究会<br>「ウクライナ侵攻から考えるエネルギー安全保障問題」                                      | オンライン       |
| 05/19 (木) | 経産省「IPCC 第6次評価報告書から気候変動緩和策の最新知見を学ぶ」                                        | オンライン       |
| 05/19 (木) | CAN-Japan<br>「IPCC 第6次評価報告書から気候危機を回避する道筋を考える」                              | オンライン       |
| 06/06 (月) | 経産省・環境省・農水省・国交省合同：再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会④                      | オンライン       |
| 06/11 (土) | CASA「地球環境市民講座① IPCC 第6次評価報告書第2作業部会報告書の概要」                                  | オンライン       |
| 06/18 (土) | CASA「地球環境市民講座②国内に見る気候変動の影響と適応」                                             | オンライン       |
| 06/20 (月) | 環境省「令和4年度環境配慮契約法基本方針検討会建築物専門委員会①」                                          | オンライン       |
| 06/27 (月) | 経産省・環境省・農水省・国交省合同：再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会⑤                      | オンライン       |
| 07/13 (水) | CAN-Japan「SB56 報告会：グラスゴーからシャルム・エル・シェイクへ～COP27に向けた国際交渉の最新報告～」               | オンライン       |
| 07/14 (木) | アスエコ「地球温暖化防止プログラムの指導者レベルアップ研修会」                                            | 県立図書館       |
| 07/15 (金) | 環境省「令和4年度環境配慮契約法基本方針検討会①」                                                  | オンライン       |
| 07/16 (土) | CASA「地球環境市民講座③脱炭素社会の実現に向けての対策」                                             | オンライン       |
| 07/17 (日) | EPO中国<br>「ハワイから学ぶ！森里川海のつながりとサステナビリティ」                                      | 岡山第一セントラルビル |
| 07/27 (水) | 環境省「令和4年度 温泉資源の保護に関するガイドライン改訂検討会」                                          | オンライン       |
| 07/28 (木) | 経産省・環境省・農水省・国交省合同：再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会⑤                      | オンライン       |
| 08/06 (土) | 札幌市<br>「キミのまわりも温暖化？身近な野鳥から見つける気候変動のサイン」                                    | オンライン       |
| 08/25 (木) | 環境省「第3回 CCUS・水素に関する国際シンポジウム」                                               | オンライン       |
| 08/26 (金) | 環境省「第3回 CCUS・水素に関する国際シンポジウム」                                               | オンライン       |
| 08/31 (水) | 中環審「地球環境部会総合政策部会炭素中立型経済社会小委員会」                                             | オンライン       |
| 09/01 (木) | 環境省「改正温対法に基づく再エネ促進区域の設定等に向けたゾーニングの活用」                                      | オンライン       |
| 09/07 (水) | 環境省「令和4年度環境配慮契約法基本方針検討会電力専門委員会」                                            | オンライン       |
| 09/29 (木) | 環境省「自家消費型太陽光導入オンラインセミナー」                                                   | オンライン       |
| 09/29 (木) | 中環審「地球環境部会総合政策部会炭素中立型経済社会小委員会」                                             | オンライン       |
| 10/05 (水) | CAN-Japan「地域の脱炭素化・需要側の取組み」                                                 | オンライン       |
| 10/11 (火) | 文部科学省、国土交通省、環境省、金融庁、国立環境研究所「気候変動リスク情報の活用促進に向けた公開シンポジウム ～気候変動の物理的リスク分析の展望～」 | オンライン       |
| 10/13 (木) | 環境省「再エネスタートコラボ企画・再生可能エネルギーで、これからどうなる？私たちの暮らし」                              | オンライン       |
| 10/18 (火) | 上智大学他「パリ協定達成に向けた脱炭素への取り組みとSDGsのインターリンケージ グローバル・ローカルなイニシアティブ」               | オンライン       |
| 10/20 (木) | 中環審「地球環境部会総合政策部会炭素中立型経済社会小委員会」                                             | オンライン       |
| 10/22 (土) | 岡山市「気候変動おかやま塾①」                                                            | 岡山市役所       |
| 10/27 (木) | EPO北海道<br>「気候変動教育連続勉強会⑧社会変動と気候コミュニケーション」                                   | オンライン       |
| 10/31 (月) | 環境省「環境配慮契約法基本方針検討会建築物専門委員会」                                                | オンライン       |
| 11/04 (金) | 環境省「環境配慮契約法基本方針検討会」                                                        | オンライン       |
| 11/07 (月) | J-GBF「行動変容ワーキンググループ」                                                       | オンライン       |

|           |                                                         |       |
|-----------|---------------------------------------------------------|-------|
| 11/07 (月) | 中環審「地球環境部会カーボンプライシングの活用に関する小委員会」                        | オンライン |
| 11/08 (火) | EPO北海道<br>「気候変動教育連続勉強会⑦社会変動と気候コミュニケーション」                | オンライン |
| 11/24 (木) | 中環審「総合政策部会」                                             | オンライン |
| 11/25 (金) | 中環審「地球環境部会総合政策部会炭素中立型経済社会小委員会」                          | オンライン |
| 11/26 (土) | 岡山市「気候変動おかやま塾②」                                         | 岡山市役所 |
| 11/30 (水) | 環境省他「IPCC シンポジウム『IPCC 第6次評価報告書から考える私たちと気候変動』」           | オンライン |
| 12/07 (水) | R I T E「革新的環境技術シンポジウム 2022～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～」 | オンライン |
| 12/08 (木) | CASA「ちきゅう Cafe 自然災害が多発！観測結果から地球温暖化の現状を知ろう」              | オンライン |
| 12/10 (土) | 岡山市「気候変動おかやま塾③」                                         | 岡山市役所 |
| 12/17 (土) | CASA「COP 27 報告会」                                        | オンライン |
| 12/20 (火) | 環境省「環境配慮契約法基本方針検討会」                                     | オンライン |
| 01/16 (月) | CASA「エネルギー安全保障・脱炭素化に 原発は有効か？」                           | オンライン |
| 01/18 (水) | 国立環境研究所「気候変動適応研修（中級コース）」                                | オンライン |
| 01/24 (火) | 環境省「地熱発電関係のガイドライン改訂検討会」                                 | オンライン |
| 01/25 (水) | CASA「ちきゅう Cafe 決定的に重要な10年！国連の気候変動交渉ではどんなことが話し合われたか」     | オンライン |
| 01/26 (木) | 中環審「地球環境部会」                                             | オンライン |
| 02/06 (月) | 経産省北海道経済産業局「北海道地域エネルギー・温暖化対策推進会議」                       | オンライン |
| 02/09 (木) | 環境省「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業 成果発表会」              | オンライン |
| 02/10 (金) | 日本学術会議<br>「2050年カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーシナリオ」              | オンライン |
| 02/16 (水) | CASA「ちきゅう Cafe ポイントはこれ！若者と読み進める IPCC の科学 AR6/WG1」       | オンライン |
| 02/17 (金) | 道総研「シンポ・気候変動が進んだ将来、北海道の冬はどうなる？どうする？」                    | オンライン |
| 02/22 (水) | N I E S 他「観測とシミュレーションで読み解く『温室効果ガス収支』」                   | オンライン |
| 02/22 (水) | N I E S 「シンポ・適応策の優先度を決めるには何が必要か？」                       | オンライン |
| 02/24 (金) | I G E S<br>「都市と暮らしを脱炭素化するための市民参加のイノベーション」               | オンライン |
| 03/02 (木) | 環境省「再エネ調達のためのオンラインセミナー ～自家消費型太陽光発電設備の導入支援を中心に～」         | オンライン |
| 03/04 (土) | アスエコ「レベルアップ・カーボンニュートラルカードプログラム」                         | 国際交流C |
| 03/06 (月) | CAN-Japan「F I Tに依らない再生可能エネルギーの調達方法」                     | オンライン |
| 03/13 (月) | 環境省「既存インフラ等を活用した再エネ導入促進セミナー」                            | オンライン |
| 03/13 (月) | 環境省「陸上風力発電事業の環境影響評価におけるクマタカ・チュウヒの取扱いに関する検討会」            | オンライン |
| 03/22 (水) | 環境省「気候変動適応全国大会①」                                        | オンライン |
| 03/23 (木) | 環境省「気候変動適応全国大会②」                                        | オンライン |
| 03/23 (木) | 気候危機対策ネットワーク「気候危機とフェミニズムの関連性」                           | オンライン |

#### 【廃プラスチックをはじめ私達の暮らしから発生するさまざまな廃棄物への対応】

| 日程        | 企画名称など               | 会場など  |
|-----------|----------------------|-------|
| 04/05 (火) | 中環審「循環型社会部会⑩」        | オンライン |
| 04/24 (土) | クリーン大作成2022 (与島・櫃石島) | 与島    |

|           |                                                                            |         |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------|---------|
| 05/23 (月) | 中環審「循環型社会部会⑩」                                                              | オンライン   |
| 05/28 (土) | みずしま財団「海ごみをなくすために、私達にできること」                                                | 御南西公民館  |
| 06/26 (日) | エコマインド<br>「プラスチックごみから川や海、そして子どもたちを守ろう」                                     | 東山公民館   |
| 06/27 (月) | 中環審「循環型社会部会⑪」                                                              | オンライン   |
| 08/25 (木) | 中環審「循環型社会部会⑫」                                                              | オンライン   |
| 09/03 (土) | CASA「マイクロプラスチック汚染と未来のアイデア」                                                 | オンライン   |
| 10/25 (火) | 環境省「地域循環共生圏フォーラム 2022」                                                     | オンライン   |
| 10/27 (木) | 環境省「全国3R推進大会」                                                              | オンライン   |
| 11/17 (木) | 農水省「SDGsと食品ロスセミナー」                                                         | オンライン   |
| 11/27 (日) | 山陽新聞社「旭川清掃活動」                                                              | 旭川河川敷   |
| 01/17 (火) | 環境省「廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO2対策普及促進方策に係る第1回シンポジウム」                             | オンライン   |
| 01/20 (金) | 環境省「mottECOで外食時の食品ロスを削減～食べ残しの持ち帰りのすすめ～」                                    | オンライン   |
| 01/23 (月) | 3R推進団体連絡会「容器包装3Rフォーラム～サーキュラーエコノミーの視点からみた容器包装3R～」                           | オンライン   |
| 02/05 (日) | 岡山ESD推進協議会<br>「SDGs海川フォーラム 2023～持続可能な社会に向けて～」                              | 杜の街グレース |
| 02/11 (土) | 釣り人みんなでごみ拾い「旭川ごみ回収活動」                                                      | 旭川河川敷   |
| 02/19 (日) | みんなでびぜん「瀬戸内海海洋ごみゼロ作戦」                                                      | 鹿久居島    |
| 02/26 (日) | 岡山県「海ごみ・プラごみ削減フォーラム in おかやま」                                               | 国際交流C   |
| 03/05 (日) | 環境省「海洋プラスチックごみ学術シンポジウム（研究セッション）」                                           | オンライン   |
| 03/16 (木) | 産業技術総合研究所「LCA活用推進コンソーシアム 公開講演会・成果報告会～バリューチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けたLCAの今後の展望～」 | オンライン   |
| 03/19 (日) | 笠岡市「海ごみ回収」                                                                 | 神島外浦港   |

### 【食糧危機への対応】

| 日程        | 企画名称など                                                               | 会場など  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------|-------|
| 07/13 (水) | 農林水産政策研究所特別研究会<br>「豊かさの価値とは何か・SDGsの視点から」                             | オンライン |
| 10/26 (水) | EPO北海道<br>「生物多様性と農業・土地利用—食料生産との両立に向けて」                               | オンライン |
| 11/07 (月) | 農水省「食料・農業・農村政策審議会畜産部会」                                               | オンライン |
| 12/07 (水) | 農水省「スマート農業推進フォーラム 2022 in 北海道～ローカル5Gを活用したスマート農業 みどりの食料システム戦略実現に向けて～」 | オンライン |
| 12/12 (月) | 農研機構「食と健康の国際シンポジウム食料安全保障と健康～先端技術によるフードシステム変革を目指して～」                  | オンライン |
| 01/16 (月) | 農林水産政策研究所シンポジウム「農福連携の広がり」と今後の可能性」                                    | オンライン |
| 02/20 (月) | 北陸農政局「農村RMO推進フォーラム」                                                  | オンライン |
| 03/09 (木) | 農研機構「スマートフードチェーンシンポジウム 2023」                                         | オンライン |
| 03/11 (土) | 日本学術会議「食料システムから地球温暖化の抑制を考える」                                         | オンライン |
| 03/14 (火) | 農水省「食料・農業・農村政策審議会」                                                   | オンライン |
| 03/24 (金) | 農研機構「北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクト発足会」                                     | オンライン |
| 03/27 (月) | 農水省「食料・農業・農村政策審議会」                                                   | オンライン |

## 【その他】

| 日程        | 企画名称など                                                             | 会場など       |
|-----------|--------------------------------------------------------------------|------------|
| 06/06 (月) | 岡山E S D協議会「岡山E S Dプロジェクト活動団体交流会」                                   | 岡山市勤福C     |
| 07/18 (月) | 公益事業支援協会「公益認定記念講演会」                                                | オンライン      |
| 07/30 (土) | みずしま財団<br>「倉敷水島の公害と福島原発事故2つの公害をむすぶシンポジウム」                          | オンライン      |
| 08/05 (金) | アスエコ「環境教育ミーティング」                                                   | 岡山コンベンションC |
| 08/23 (火) | G E O C「つな環対談 循環型社会のためのトランジションのために」                                | オンライン      |
| 09/15 (金) | 北海道S D G sプラットフォーム「第7回S D G s研究会」                                  | オンライン      |
| 10/25 (火) | 環境省「地域循環共生圏フォーラム2022」                                              | オンライン      |
| 10/28 (金) | 岡山E S D推進協議会「E S Dコーディネイター交流会」                                     | 勤労者福祉C     |
| 11/12 (土) | あどぼを紡ぐ研究会「ミナマタから気候変動まで」                                            | オンライン      |
| 11/17 (木) | 岡山E S D推進協議会「E S Dカフェ（#おかやまJ K Note）」                              | オンライン      |
| 11/19 (土) | 岡山E S D推進協議会「おかやまE S Dフォーラム2022」                                   | 国際交流C      |
| 11/22 (火) | 環境省「地域の価値を未来につなげる！ローカルSDGs構築セミナー②」                                 | オンライン      |
| 11/23 (水) | 五井平和財団「財団フォーラム（サティシュ・クマール氏）」                                       | オンライン      |
| 11/28 (月) | サステナビリティ日本フォーラム「20周年特別シンポジウム」                                      | オンライン      |
| 12/02 (金) | 岡山S D G s未来都市連絡協議会「S D G s体感モニターツアー・脱炭素社会の実現に向けて（西粟倉村・真庭市）」        | バス企画       |
| 12/10 (土) | 環境省他「ESD推進ネットワーク全国フォーラム2022：実践的・包括的なSDGs人材育成を目指して～気候変動教育からはじめよう～」  | オンライン      |
| 12/13 (火) | 環境省「地域の価値を未来につなげる！ローカルSDGs構築セミナー③」                                 | オンライン      |
| 01/18 (水) | 岡山E S D推進協議会「企業向けS D G s研修」                                        | 勤労者福祉C     |
| 01/20 (金) | 真庭市「真庭S D G s円卓会議」                                                 | オンライン      |
| 01/22 (土) | 文科省「ユネスコスクール全国大会 / E S D研究大会」                                      | オンライン      |
| 01/27 (金) | 岡山E S D推進協議会「E S D効果測定研究会」                                         | 市役所会議室     |
| 01/27 (金) | J I C A「世界をアクティブに学ぶ教育の新潮流」                                         | オンライン      |
| 01/30 (月) | アスエコ「おかやま環境フォーラム2023～S D G s・脱炭素プロフェッショナルと考える！岡山でのわたしたちが取り組むべきこと～」 | 能楽堂ホール     |
| 01/31 (火) | きんき環境館「セミナー・ローカルSDGs（地域循環共生圏）推進における大学が果たす役割とは」                     | オンライン      |
| 02/02 (木) | 岡山S D G s未来都市連絡協議会「シンポジウム・サステナブルツーリズムフォーラム」                        | 西川アイプラザ    |
| 02/12 (日) | 瀬戸内市「瀬戸内市の未来を変えるS D G s」                                           | ゆめトピア長船    |
| 02/23 (木) | 全大阪消団連「くらしクリエイティブフォーラムIN関西」                                        | オンライン      |
| 03/03 (金) | 北海道S D G sプラットフォーム「第8回S D G s研究会」                                  | オンライン      |
| 03/07 (火) | I G E S「S D G s進捗レポート2023」                                         | オンライン      |
| 03/17 (金) | 環境省「第六次環境基本計画に向けた将来にわたって質の高い生活をもたらす『新たな成長』に関する検討会」                 | オンライン      |
| 03/28 (火) | E P O北海道「環境道民ウィンターミーティング2023」                                      | オンライン      |

②会員登録いただいている個人会員及び団体会員のみならず、企業会員のみならずにも財団としてどんな情報提供が求められているのか、どんな情報提供が可能なのかを研究し、みなさまから必要とされる財団となれるよう引き続き情報収集をすすめます。

## 5. 法人管理部門

### (1) 理事会、評議員会

- ①5月理事会では、理事及び監事の改選提案などを確認しました。
- ②6月定例評議員会では、今後2年間の理事及び監事の提案を行い提案通り議決しました。
- ③その後の理事会で、代表理事（交代）と業務執行理事2名を選定しました。
- ④運営委員会を、6月に開催し、今後の事業運営について協議を行いました。

### (2) 申請

- ①年度計画等の変更届を提出しました。
- ②2021年度の公益財団法人事業報告を提出しました。

### (3) 会員管理

#### ①会員数（2023年03月31日現在：納付済）

| 会員数     | 個人     | 団体     | 企業等 | 計       |
|---------|--------|--------|-----|---------|
| 2022年3月 | 81 + 3 | 39 + 4 | 30  | 150 + 7 |
| 2023年3月 | 85 + 4 | 38 + 3 | 29  | 152 + 7 |

※「+α」は、学生個人または学生団体会員数です。

#### ②2022年度入会・退会状況

|    | 個人 | 団体 | 企業等 | 計  |
|----|----|----|-----|----|
| 入会 | 12 | 1  | 0   | 13 |
| 退会 | 3  | 0  | 0   | 3  |

### (4) 財政

- ①財団財政は、経費執行は予算比97.6%（同71.3%）、収支は予算差 - 3万円の約64万円の赤字となりました。
- ②シンポジウムの翌年度順延など未執行が想定されたことから、10月度理事会で追加の経費執行提案を行い、ホームページ・リニューアルなどを行うことを確認しました。

以上

# 公益財団法人おかやま環境ネットワーク役員・評議員

2022年度(令和04年度)

**評議員** [任期] 2021(令和03)年評議員会終結の時～2025(令和07)年評議員会終結の時

|    | 氏 名     | 略 歴 等                        |
|----|---------|------------------------------|
| 1  | 阿 部 孝 司 | 岡山大学生生活協同組合専務理事              |
| 2  | 伊 東 秀 之 | 岡山県立大学副学長                    |
| 3  | 大 倉 和 幸 | 児島湖流域エコウェブ事務局長               |
| 4  | 大 塚 利 昭 | 日本野鳥の会岡山支部監事                 |
| 5  | 小 橋 賢 之 | (株) 建美装社代表取締役                |
| 6  | 田 中 照 周 | 生活協同組合おかやまコープ専務理事            |
| 7  | 萩 原 美 江 | 生活協同組合おかやまコープ全体理事            |
| 8  | 日 野 進一郎 | グローカルネット吉備代表 / 日野環境デザイン研究所代表 |
| 9  | 平 田 まき子 | 前加計学園水質管理室                   |
| 10 | 福 田 佳 代 | 岡山環境カウンセラー協会副代表              |
| 11 | 和 田 博 知 | 岡山医療生活協同組合専務理事               |

以上、評議員 11 名 (50 音順)

**理事** [任期] 2022(令和4)年評議員会終結の時～2024(令和6)年評議員会終結の時

|    | 氏 名     | 略 歴 等                            |
|----|---------|----------------------------------|
| 1  | 秋 山 秀 行 | (株) 大町代表取締役社長                    |
| 2  | 井 勝 久 喜 | 吉備国際大学教授                         |
| 3  | 沖 陽 子   | 岡山県立大学学長                         |
| 4  | 加 藤 内蔵進 | 岡山大学大学院教育学研究科名誉教授 (特命教授)         |
| 5  | 高 坂 知 典 | 生活協同組合おかやまコープ職員                  |
| 6  | 嶋 一 徹   | 岡山大学大学院環境生命科学研究科教授               |
| 7  | 清 水 善 朗 | 弁護士                              |
| 8  | 大 同 久 人 | 生活協同組合おかやまコープ執行役員                |
| 9  | 田 中 丈 裕 | 特定非営利活動法人里海づくり研究会議理事・事務局長        |
| 10 | 野 上 祐 作 | 岡山理科大学名誉教授                       |
| 11 | 花 口 光   | 岡山の自然を守る会事務局長・会長                 |
| 12 | 三 村 康   | サンコー印刷 (株) 代表取締役                 |
| 13 | 山 口 一 裕 | 岡山理科大学教育推進機構教育開発センター長            |
| 14 | 山 田 哲 弘 | 公益財団法人岡山県環境保全事業団環境学習センター「アスエコ」所長 |
| 15 | 吉 鷹 一 郎 | 岡山野生生物調査会事務局                     |

以上、理事 15 名 (50 音順)

代表理事：沖 陽子、業務執行理事：大同 久人、高坂 知典

**監事** [任期] 2022(令和4)年評議員会終結の時～2024(令和6)年評議員会終結の時

|   | 氏 名     | 略 歴 等             |
|---|---------|-------------------|
| 1 | 岡 本 秀 雄 | 生活協同組合おかやまコープ常勤監事 |
| 2 | 横 山 順 二 | 岡山手延素麺株式会社代表取締役   |

以上、監事 2 名 (50 音順)

**顧問** [任期：理事会において定める]

2018(平成30)年5月12日理事会終結の時～2024(令和6)年5月理事会終結の時

|   | 氏 名     | 略 歴 等               |
|---|---------|---------------------|
| 1 | 青 山 勳   | 岡山大学名誉教授            |
| 2 | 河 原 長 美 | 岡山大学名誉教授            |
| 2 | 千 葉 喬 三 | 学校法人中国学園大学・中国短期大学学長 |

以上、顧問 3 名 (50 音順)

# 事業報告書の附属明細書

## 1. 評議員及び理事、監事の報酬等の状況

| 区分  | 定款上の定員（名） | 人員数（名） | 支給額 |
|-----|-----------|--------|-----|
| 評議員 | 3名以上15名以内 | 11名    | 無   |
| 理 事 | 3名以上17名以内 | 15名    | 無   |
| 監 事 | 2名以内      | 2名     | 無   |
| 合計  |           | 28名    | —   |

## 2. その他の事業報告書の内容を補足する重要な事項 該当事項はありません。

## 3. 2022年度評議員会・理事会・監事監査一覧

| 開催日      | 会議名  | 開催日      | 会議名  | 開催日      | 会議名 |
|----------|------|----------|------|----------|-----|
| 04/13(水) | 監事監査 | 06/11(土) | 評議員会 | 10/22(土) | 理事会 |
| 05/14(土) | 理事会  | 10/12(水) | 監事監査 | 03/04(土) | 理事会 |

## 4. 2022年度主催（共催）実施事業一覧 多くのご参加、ご支援、ありがとうございました。

| 開催日      | 事業名             | 参加数   | 開催日      | 事業名             | 参加数   |
|----------|-----------------|-------|----------|-----------------|-------|
| 04/09(土) | 体験P・村田製作所親子企画①  | 19    | 08/27(土) | ホテル団体交流会        | 8     |
| 04/16(土) | ホテル団体交流会        | 13    | 09/17(土) | 体験P・秋の猛禽の渡り観察会  | 29    |
| 04/30(土) | 環境講座・大野川筍掘り等    | 30    | 09/24(土) | 体験P・日生アマモ種選別種まき | 56    |
| 05/14(土) | 助成活動報告会         | 12    | 09/27(火) | 体験P・笠岡神内小アマモ教室  | 21    |
| 05/28(土) | 環境講座・村田製作所ホテル鑑賞 | 270   | 10/07(金) | 体験P・日生西小アマモ教室   | 72    |
| 06/04(土) | 体験P・日生アマモ種取     | 86    | 10/15(土) | 環境講座・大野川いきもの調査会 | 26    |
| 06/04(土) | 環境講座・山南ホテル観察会   | 16    | 10/16(日) | 体験P・美咲町田んぼビオトープ | 23    |
| 06/05(日) | 環境講座・なださきホテル観察会 | 29    | 10/26(火) | 体験P・岡山学芸館高校アマモ  | 31    |
| 06/11(土) | 環境講座・大野川ホテル調査会  | 34    | 10/29(土) | ホテル団体交流会        | 7     |
| 06/21(火) | 水環境フォーラム（オンライン） | 不明    | 11/05(土) | 体験P・扇海岸海ごみ清掃体験  | 29    |
| 07/15(金) | 事業・決算報告書発行      | 700部  | 11/06(日) | 環境講座・旭川かいぼり調査   | 200   |
| 07/15(金) | 環境家計簿レポート発行     | 1000部 | 12/01(木) | 環境NWニュース発行      | 700部  |
| 07/30(土) | 体験P・村田製作所親子企画②  | 53    | 12/07(水) | 環境カレンダー発行       | 1300部 |
| 08/01(月) | 環境講座・海ごみ学習会     | 22    | 02/04(土) | ホテル団体交流会        | 10    |
| 08/06(土) | 体験P・村田製作所親子企画③  | 24    | 02/18(土) | 体験P・村田製作所親子企画⑤  | 16    |
| 08/20(土) | 体験P・大野川川あそび     | 36    | 03/15(水) | 環境NWニュース発行      | 700部  |

※メール・ニュース等は、他団体企画掲載要請を含め、随時配信を行いました。

## 5. 2022年度主催会議等一覧

| 開催日      | 会議名           | 開催日      | 会議名             |
|----------|---------------|----------|-----------------|
| 04/18(土) | 理事会打ち合わせ      | 11/09(水) | 里海づくり推進部会       |
| 04/19(火) | 自然とくらし部会視察    | 11/15(火) | 体験プログラム打ち合わせ    |
| 04/23(土) | 自然とくらし部会      | 11/17(木) | 体験プログラム打ち合わせ    |
| 05/10(火) | 環境講座打ち合わせ     | 11/21(月) | 理事学習会           |
| 05/13(金) | 理事会打ち合わせ      | 12/09(金) | 自然とくらし部会        |
| 05/16(月) | 理事会打ち合わせ      | 12/11(日) | 体験プログラム打ち合わせ    |
| 05/17(火) | 環境家計簿委員会      | 01/10(火) | 体験プログラム打ち合わせ    |
| 05/20(金) | 体験プログラム打ち合わせ  | 01/13(金) | 笠岡里海シンポジウム打ち合わせ |
| 05/24(火) | 里海づくり推進部会     | 01/14(土) | 自然とくらし部会        |
| 05/31(火) | 自然とくらし部会視察    | 01/16(月) | 体験プログラム打ち合わせ    |
| 06/17(金) | 運営委員会         | 01/17(火) | 里海づくり推進部会       |
| 06/24(木) | 環境家計簿委員会      | 01/22(日) | 体験プログラム・笠岡アマモ定植 |
| 07/26(火) | 里海づくり推進部会     | 01/26(木) | 体験プログラム打ち合わせ    |
| 08/19(金) | 自然とくらし部会打ち合わせ | 01/31(火) | 理事学習会           |
| 09/06(火) | 環境家計簿委員会      | 02/03(金) | 運営委員会           |
| 09/10(土) | 自然とくらし部会視察    | 02/08(水) | 体験プログラム打ち合わせ    |
| 09/13(火) | 里海づくり推進部会     | 02/09(木) | 体験プログラム・日生アマモ定植 |
| 09/20(火) | 環境家計簿委員会      | 02/09(木) | 助成部会            |
| 09/22(木) | 体験プログラム打ち合わせ  | 03/13(月) | 自然とくらし部会打ち合わせ   |
| 10/03(月) | 体験プログラム打ち合わせ  | 03/14(火) | 里海づくり推進部会       |
| 10/10(月) | 自然とくらし部会視察    | 03/17(金) | 自然とくらし部会打ち合わせ   |
| 10/21(金) | 理事学習会         |          |                 |

## 6. 年度別事業実施数と事業参加人数推移

| 年度     | 事業数 | 参加人数 | 年度     | 事業数 | 参加人数  | 年度     | 事業数 | 参加人数  |
|--------|-----|------|--------|-----|-------|--------|-----|-------|
| 2001年度 | 10  | 501  | 2009年度 | 13  | 1,058 | 2017年度 | 22  | 3,462 |
| 2002年度 | 10  | 668  | 2010年度 | 14  | 1,440 | 2018年度 | 21  | 3,692 |
| 2003年度 | 11  | 751  | 2011年度 | 16  | 2,057 | 2019年度 | 21  | 1,900 |
| 2004年度 | 11  | 537  | 2012年度 | 18  | 2,579 | 2020年度 | 21  | 872   |
| 2005年度 | 11  | 655  | 2013年度 | 21  | 3,101 | 2021年度 | 23  | 945   |
| 2006年度 | 10  | 725  | 2014年度 | 23  | 3,699 | 2022年度 | 28  | 1,141 |
| 2007年度 | 10  | 609  | 2015年度 | 21  | 3,746 |        |     |       |
| 2008年度 | 10  | 667  | 2016年度 | 24  | 4,305 |        |     |       |

※2019年度集計より、メールアドレス登録者数、発行物発行数を集計から除いています。

# I. 財務諸表

## 貸 借 対 照 表

2023年03月31日現在

(単位:円)

| 科 目         | 当 期 金 額     | 前年同月金額      | 当期増減額     |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| I. 資産の部     |             |             |           |
| 1. 流動資産     |             |             |           |
| 現金預金        | 1,708,717   | 2,197,045   | △ 408,328 |
| 未収金         | 0           | 0           | 0         |
| 前払金         | 0           | 0           | 0         |
| 仮払金         | 0           | 0           | 0         |
| 流動資産合計      | 1,708,717   | 2,197,045   | △ 488,328 |
| 2. 固定資産     |             |             |           |
| 基本財産        |             |             |           |
| 投資有価証券      | 100,000,000 | 100,000,000 | 0         |
| 定期預金        | 15,000,000  | 15,000,000  | 0         |
| 基本財産合計      | 115,000,000 | 115,000,000 | 0         |
| 特定資産        |             |             |           |
| 特定財産合計      | 0           | 0           | 0         |
| その他の固定資産    |             |             |           |
| 器具備品        | 0           | 0           | 0         |
| 減価償却累計額     | 0           | 0           | 0         |
| その他の固定資産合計  | 0           | 0           | 0         |
| 固定資産合計      | 115,000,000 | 115,000,000 | 0         |
| 資産合計        | 116,708,717 | 117,197,045 | △ 488,328 |
| II. 負債の部    |             |             |           |
| 1. 流動負債     |             |             |           |
| 未払金         | 54,551      | 74,435      | △ 19,884  |
| 前受会費        | 290,000     | 116,000     | 174,000   |
| 預り金         | 2,000       | 0           | 2,000     |
| 流動負債合計      | 346,551     | 190,435     | 156,116   |
| 2. 固定負債     |             |             |           |
| 固定負債合計      | 0           | 0           | 0         |
| 負債合計        | 346,551     | 190,435     | 156,116   |
| III. 正味財産の部 |             |             |           |
| 正味財産        |             |             |           |
| 基本財産        | 115,000,000 | 115,000,000 | 0         |
| 特定財産        | 0           | 0           | 0         |
| 当期正味財産増減額   | △ 644,444   | △ 3,227,078 | 2,582,634 |
| 正味財産合計      | 116,362,166 | 117,006,610 | △ 644,444 |
| 正味財産合計      | 116,362,166 | 117,006,610 | △ 644,444 |
| 負債および正味財産合計 | 116,708,717 | 117,197,045 | △ 488,328 |

# 正味財産増減計算書

2022年04月01日から2023年03月31日まで

(単位:円)

| 科 目            | 当年度         | 当年度予算       | 前年度実績       | 実績増減       |
|----------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| I. 一般正味財産増減の部  |             |             |             |            |
| 1. 経常増減の部      |             |             |             |            |
| (1) 経常収益       |             |             |             |            |
| ①基本財産運用益       | 1,800,300   | 1,800,000   | 1,800,300   | 0          |
| ②特定資産運用益       |             | 0           | 0           | 0          |
| ③受取会費          | 1,840,000   | 1,874,000   | 894,000     | 946,000    |
| ④事業収益          |             | 0           | 0           | 0          |
| ⑤受取補助金等        |             | 0           | 0           | 0          |
| ⑥受取寄附金         | 15,255      | 0           | 6,000       | 9,255      |
| ⑦雑収益           |             | 0           | 0           | 0          |
| ⑧受取利息          | 5           | 0           | 34          | -29        |
| 経常収益計          | 3,655,560   | 3,674,000   | 2,700,334   | 955,226    |
| (2) 経常費用       |             |             |             |            |
| ①事業費           | 4,130,852   | 4,230,874   | 5,794,092   | -1,663,240 |
| 給料手当           | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 臨時雇賃金          | 401,178     | 298,750     | 199,704     | 201,474    |
| 旅費交通費          | 216,190     | 408,250     | 240,050     | -23,860    |
| 通信交通費          | 143,377     | 221,134     | 287,575     | -144,198   |
| 通信運搬費          | 1,510       | 0           | 1,050       | 460        |
| 減価償却費          | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 消耗品費           | 1,041,529   | 211,950     | 133,224     | 908,305    |
| 印刷製本費          | 563,629     | 505,500     | 1,954,692   | -1,391,063 |
| 賃借料            | 302,620     | 401,920     | 315,970     | -13,350    |
| 諸謝金            | 360,233     | 592,000     | 1,011,322   | -651,089   |
| 支払助成金          | 660,910     | 1,100,000   | 824,505     | -163,595   |
| 雑費             | 439,676     | 481,370     | 826,000     | -386,324   |
| 研修費            | 0           | 10,000      | 0           | 0          |
| ②管理費           | 169,152     | 116,846     | 133,320     | 35,832     |
| 給料手当           | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 臨時雇賃金          | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 会議費            | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 旅費交通費          | 32,700      | 42,400      | 40,780      | -8,080     |
| 通信交通費          | 35,630      | 27,086      | 36,080      | -450       |
| 通信運搬費          | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 減価償却費          | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 消耗品費           | 54,064      | 3,650       | 4,260       | 49,804     |
| 印刷製本費          | 2,945       | 1,500       | 2,660       | 285        |
| 賃借料            | 38,380      | 27,480      | 39,780      | -1,400     |
| 諸謝金            | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 雑費             | 5,433       | 9,730       | 9,760       | -4,327     |
| 研修費            | 0           | 5,000       | 0           | 0          |
| 公租公課           | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 経常費用計          | 4,300,004   | 4,347,720   | 5,927,412   | -1,627,408 |
| 当期経常増減額        | -644,444    | -673,720    | -3,227,078  | 2,582,634  |
| 2. 経常外増減の部     |             |             |             |            |
| (1) 経常外収益      |             |             |             |            |
| 基本財産評価益        | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 固定資産売却益        | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 経常外収益計         | 0           | 0           | 0           | 0          |
| (2) 経常外費用      |             |             |             |            |
| 基本財産評価損        | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 固定資産売却損        | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 経常外費用計         | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 当期経常外増減額       | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 当期一般正味財産増減額    | -644,444    | -673,720    | -3,227,078  | 2,582,634  |
| 一般正味財産期首残高     | 117,006,610 | 117,006,610 | 120,233,688 | -3,227,078 |
| 一般正味財産期末残高     | 116,362,166 | 116,332,890 | 117,006,610 | -644,444   |
| II. 指定正味財産増減の部 |             |             |             |            |
| 当期指定正味財産増減の部   |             |             |             |            |
| 指定正味財産期首残高     | 0           | 0           | 0           | 0          |
| 指定正味財産期末残高     | 0           | 0           | 0           | 0          |
| III. 正味財産期末残高  | 116,362,166 | 116,332,890 | 117,006,610 | -644,444   |

# 財務諸表の注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目              | 前期末残高       | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高       |
|------------------|-------------|-------|-------|-------------|
| 基本財産             |             |       |       |             |
| 投資有価証券 第122回利付国債 | 100,000,000 | 0     | 0     | 100,000,000 |
| 定期預金             | 15,000,000  | 0     | 0     | 15,000,000  |
| 小 計              | 115,000,000 | 0     | 0     | 115,000,000 |
| 特定資産             | 0           | 0     | 0     | 0           |
| 小 計              | 0           | 0     | 0     | 0           |
| 合 計              | 115,000,000 | 0     | 0     | 115,000,000 |

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目              | 当期末残高       | (うち指定正味財産<br>からの充当額) | (うち一般正味財産<br>からの充当額) | (うち負債に<br>対応する額) |
|------------------|-------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産             |             |                      |                      |                  |
| 投資有価証券 第122回利付国債 | 100,000,000 |                      | 100,000,000          |                  |
| 定期預金             | 15,000,000  |                      | 15,000,000           |                  |
| 小 計              | 115,000,000 | 0                    | 115,000,000          | 0                |
| 特定資産             | 0           | 0                    | 0                    | 0                |
| 小 計              | 0           | 0                    | 0                    | 0                |
| 合 計              | 115,000,000 | 0                    | 115,000,000          | 0                |

## Ⅱ. 附 属 明 細 書

- (1) 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記のとおりである。  
 (2) 引当金は該当なし。

## Ⅲ. 財 産 目 録

2023年03月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目      |                | 場所・物量等                                                                | 使用目的等                          | 金額          |
|--------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------|
| (流動資産)       | 現金             | 手元保管                                                                  | 運転資金として                        | 105,086     |
|              | 普通預金           | 中国銀行奉還町支店                                                             | 運転資金として                        | 1,231,232   |
|              | 郵便振替           | ゆうちょ銀行（伊福町）                                                           | 運転資金として                        | 372,399     |
|              | 前払金            |                                                                       |                                | 0           |
|              | 仮払金            |                                                                       |                                | 0           |
| 流動資産合計       |                |                                                                       |                                | 1,708,717   |
| (固定資産)       |                |                                                                       |                                |             |
| 基本財産         | 投資有価証券<br>定期預金 | 第 122 回利付国債<br>中国銀行奉還町支店                                              | 公益目的保有財産として保有                  | 100,000,000 |
|              |                |                                                                       | 公益目的保有財産として保有                  | 15,000,000  |
| 特定資産         |                |                                                                       |                                | 0           |
| その他の固定<br>資産 |                |                                                                       |                                | 0           |
| 固定資産合計       |                |                                                                       |                                | 115,000,000 |
| 資産合計         |                |                                                                       |                                | 116,708,717 |
| (流動負債)       | 未払金            | 個人会費 29 件 30 口<br>団体会費 08 件 08 口<br>法人会費 02 件 02 口<br>寄 付 金 01 件 01 口 | 公益目的事業及び管理目的の業務<br>に使用する翌年度の会費 | 54,551      |
|              | 前受会費           |                                                                       |                                | 290,000     |
|              | 預り金            |                                                                       |                                |             |
| 流動負債合計       |                |                                                                       |                                | 346,551     |
| (固定負債)       |                |                                                                       |                                |             |
| 固定負債合計       |                |                                                                       |                                | 0           |
| 負債合計         |                |                                                                       |                                | 346,551     |
| 正味財産         |                |                                                                       |                                | 116,362,166 |

# 監 査 報 告 書

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年3月期事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会や報告会等に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な書類等を閲覧し、本部事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告書等の監査結果

一 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 財務諸表等の監査結果

財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年04月12日

公益財団法人 おかやま環境ネットワーク

監事 岡本 秀雄 

監事 横山 順二 印



# 公益財団法人おかやま環境ネットワーク

## 2030年に向けた組織行動方針

2021年10月末から11月中旬にかけて、英国のグラスゴーで開催されたCOP26において、2030年までの10年間を“決定的な10年間”と位置づけ、気候変動の悪影響を回避する上で、気温の上昇幅を1.5℃に抑えることを目標とする合意がなされました。この目標の達成に向けて各国がどのような対策を掲げ、そのための行動をどれだけ加速できるかがカギとなっています。

このような状況の中で、創立20年を迎えた「おかやま環境ネットワーク」の今後の活動を展望する契機として、2021年の11月、20周年記念シンポジウムを開催致しました。枝廣淳子さんの基調講演及びパネルディスカッションを通して、我々の身近なくらしが地域経済や地球環境にどのように関係しているのかについて議論致しました。

そして、おかやま環境ネットワークを支える理事で協議を重ね、下記のような今後10年間の長期ビジョンの骨子を作成致しました。

（公財）おかやま環境ネットワークは、産官学民の連携の下、2030年に向けてネットワークを充実させながら未来社会に活かす環境マインドと、岡山の自然環境とくらしを維持する地域力を養い、次世代を担う笑顔に満ちた子どもたちにそれらを継承していくことをミッションとします。

具体的な活動としては、①森・里・川・海などの生態系保全への対応、②エネルギー問題を踏まえた気候変動への対応、③廃プラスチックをはじめ私達のくらしから発生するさまざまな廃棄物への対応、④今後やってくることが予測される食糧危機への対応などを対象とすることに致しました。

これらは互いに関連する問題であり、目標とする未来社会を起点として、これらに対して私達が今何をなすべきかを考える必要があります。

おかやま環境ネットワークがこれらを実践するためには、岡山県内の環境保全活動団体や個々の県民の皆さんとの情報の交換・共有を行い、時には調査・研究の協働が必要と考えます。さらに、異なる世代間の交流を積極的に図りながら豊かなネットワークを構築していく所存です。ご支援のほどよろしくお願い致します。

以上

2022年04月01日

公益財団法人おかやま環境ネットワーク理事会

## 2023年度の事業計画

◆はじめに 『参加と行動 ～あらゆる主体の参加・行動を促します～』

- ・かけがえのない地球を守り、私たちの生命を育んでいる健全で恵み豊かな環境を保全しながら将来に引き継ぐためには、社会を構成するあらゆる主体の参加と行動が必要です。
- ・「おかやま環境ネットワーク」は、2030年に向け、産学官民連携の下、ネットワークを拡げながら、未来社会に活かす環境マインドの醸成と豊かな岡山の自然環境とくらしを維持する地域力を創り、子どもの笑顔に結びつけられるよう次世代に継承することをミッションとします。

### 1. ネットワーク・広報・研究・助成事業

#### ①助成事業

- ・県内の環境団体の育成と環境問題の研究に対して財政的な支援を図ります。
- ・「助成活動報告会」は、前年度助成団体による活動報告と、意見交流を行います。

#### ②ホテル団体交流会・ホテル現地視察会

- ・ホテル団体交流会は、ホテルに関する取り組みを実施している団体や関心ある個人の参加のもと交流をすすめ、自然環境保全活動の前進を図ります。
- ・ホテル団体交流会は、次世代の育成や子どもたちにホテルの住む環境を残すことの大切さを伝えていく方策の検討及び具体化を図ります。
- ・ホテル生息地や保全活動実施地域を訪れ、ホテルの生態と自然環境の観察をしながら、地域の皆様、参加者が意見交換し、より望ましい保全のあり方等について考えることを目的に現地視察を行います。

#### ③ニュース、ホームページ、メールニュースの発行

- ・各媒体の特徴を活かし、多様な情報発信、情報共有、各主体の交流の促進と、事業への参加や協力を促します。
- ・ニュースは季刊発行とし、様々な情報提供、活動紹介をすすめます。
- ・メールニュースは月2回を基本に発行し、タイムリーな情報発信をすすめます。
- ・「事業紹介パンフレット」や「事業・決算報告並びに事業計画・予算書」を作成し、広く活動の理解につなげ、それらを活用した会員獲得をすすめます。

#### ④環境家計簿活動の普及

- ・環境家計簿の普及を通じ、家庭部門のCO<sub>2</sub>排出削減をすすめ、環境に配慮したくらしを見直す活動をすすめます。
- ・岡山市と協働で「環境家計簿レポート・

環境家計簿カレンダー」を発行し、啓発につなげます。

#### ⑤自然環境の研究・交流

- ・「里海づくり推進部会」で、県内の活動の推進、学習・交流企画等の具体化を図ります。
- ・「おかやまの豊かな自然とくらしを考える部会」で、県内の自然環境に関わる団体・個人との交流や研究調査等の具体化を図ります。
- ・気候温暖化やプラスチック類による環境影響など暮らしとのかかわりで行動変容が求められている課題について継続して学習や交流企画等の具体化を図ります。

#### ⑥他団体、行政等とのつながり

- ・他団体や行政等との日常的なコミュニケーションを強め、共催事業の具体化や、委員会などの場で役割を発揮します。

### 2. 啓発事業

他団体や行政等との連携と協働をすすめます。

#### ①市民のための環境講座

- ・環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促し、社会全体の持続可能性を形づくる基本概念を学ぶことを目的に開催します。
- ・豊かな環境を次世代に継承できるよう、幅広い課題について、情報を発信します。
- ・清流のある御津大野での各種取り組み等の企画をすすめます。

#### ②体験プログラム

- ・体験を通して得られる実感や理解をもとに、人間と環境との関わりや、豊かな環境とその恵みを大切に思う心をはぐくみ、命の大切さを学び、環境や普段のくらしを自ら考えるきっかけをつくることを目的に機会提供をすすめます。
- ・「旭川かいぼり調査2023」を地元団体等と共催で開催します。
- ・日生でのアマモ場再生関連企画を継続します。

### 3. 法人管理・会計等

#### ①公益財団法人の組織運営

- ・新制度に沿った組織運営をすすめます。

#### ②予算

- ・収支相償を目指します。

# 収 支 予 算 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目          | 公益目的事業会計   |            |           |           | 法人会計    | 合計        |
|--------------|------------|------------|-----------|-----------|---------|-----------|
|              | 公 1        | 公 2        | 共通        | 小計        |         |           |
| I 一般正味財産増減の部 |            |            |           |           |         |           |
| 1. 経常増減の部    |            |            |           |           |         |           |
| (1) 経常収益     |            |            |           |           |         |           |
| 基本財産運用益      |            |            | 1,800,000 | 1,800,000 | 0       | 1,800,000 |
| 特定資産運用益      |            |            |           | 0         | 0       | 0         |
| 受取会費         |            |            | 1,656,000 | 1,656,000 | 184,000 | 1,840,000 |
| 事業収益         |            |            |           | 0         | 0       | 0         |
| 受取補助金等       |            |            |           | 0         | 0       | 0         |
| 受取寄附金        |            |            |           | 0         | 0       | 0         |
| 特定費用準備資金取崩   |            |            |           | 0         | 0       | 0         |
| 雑収益          |            |            |           | 0         | 0       | 0         |
| 経常収益計        | 0          | 0          | 3,456,000 | 3,456,000 | 184,000 | 3,640,000 |
| (2) 経常費用     |            |            |           |           |         |           |
| 事業費          | 2,104,150  | 1,065,250  | 448,494   | 3,617,894 |         | 3,617,894 |
| 給料手当         | 0          | 0          | 0         | 0         |         | 0         |
| 臨時雇賃金        | 258,750    | 86,250     | 0         | 345,000   |         | 345,000   |
| 旅費交通費        | 252,000    | 23,000     | 1,500     | 276,500   |         | 276,500   |
| 通信交通費        | 131,000    | 28,000     | 48,234    | 207,234   |         | 207,234   |
| 通信運搬費        | 0          | 0          | 0         | 0         |         | 0         |
| 減価償却費        | 0          | 0          | 0         | 0         |         | 0         |
| 消耗品費         | 11,000     | 23,500     | 63,950    | 98,450    |         | 98,450    |
| 印刷製本費        | 359,000    | 97,000     | 54,500    | 510,500   |         | 510,500   |
| 賃借料          | 251,500    | 62,000     | 230,720   | 544,220   |         | 544,220   |
| 諸謝金          | 160,000    | 412,000    | 0         | 572,000   |         | 572,000   |
| 支払助成金        | 654,900    | 0          | 0         | 654,900   |         | 654,900   |
| 雑費           | 26,000     | 333,500    | 49,590    | 409,090   |         | 409,090   |
| 研修費          | 0          | 0          | 0         | 0         |         | 0         |
| 管理費          |            |            |           |           | 109,126 | 109,126   |
| 給料手当         |            |            |           |           | 0       | 0         |
| 臨時雇賃金        |            |            |           |           | 0       | 0         |
| 会議費          |            |            |           |           | 0       | 0         |
| 旅費交通費        |            |            |           |           | 35,400  | 35,400    |
| 通信交通費        |            |            |           |           | 26,486  | 26,486    |
| 通信運搬費        |            |            |           |           | 0       | 0         |
| 減価償却費        |            |            |           |           | 0       | 0         |
| 消耗品費         |            |            |           |           | 3,650   | 3,650     |
| 印刷製本費        |            |            |           |           | 1,500   | 1,500     |
| 賃借料          |            |            |           |           | 27,480  | 27,480    |
| 諸謝金          |            |            |           |           | 0       | 0         |
| 雑費           |            |            |           |           | 9,610   | 9,610     |
| 研修費          |            |            |           |           | 5,000   | 5,000     |
| 公租公課         |            |            |           |           | 0       | 0         |
| 経常費用計        | 2,104,150  | 1,065,250  | 448,494   | 3,617,894 | 109,126 | 3,727,020 |
| 当期経常増減額      | -2,104,150 | -1,065,250 | 3,007,506 | -161,894  | 74,874  | -87,020   |

# 公益財団法人おかやま環境ネットワーク定款

## 第1章 総 則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人おかやま環境ネットワークと称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を岡山県岡山市に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、ふるさと岡山の自然とくらしに関する環境保全及び環境問題の解決に向け、研究・啓発活動をはじめ、県内の環境活動団体の交流や相互支援の促進を図り、もって地球環境保全に寄与することを目的とする。

(公益目的事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) ネットワーク事業(①環境保全活動の交流に関する事業、②環境情報の提供に関する事業、③地域環境、地球環境、くらしの調査、研究に関する事業、④地域の環境活動団体に対する支援事業)
- (2) 啓発事業(地域環境、地球環境を大切にする啓発に関する事業)
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、岡山県内において行うものとする。

## 第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産として、評議員会で定めた財産をこの法人の基本財産とする。

2 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書(正味財産増減計算書)
- (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号、第5号、及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 代表理事は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

## 第4章 評議員

(評議員)

第10条 この法人に評議員3名以上15名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

- (1) 各評議員について、次のイからへに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。

- イ 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族
- ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者
- ハ 当該評議員の使用人
- ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であって、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持しているもの
- ホ ハ又はニに掲げる者の配偶者
- ヘ ロからニまでに掲げる者の3親等内の親族であって、これらの者と生計を一にするもの
- (2) 他の同一の団体(公益法人を除く。)の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
- イ 理事
- ロ 使用人
- ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員(法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人)又は業務を執行する社員である者
- ニ 次に掲げる団体においてその職員(国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。)である者
- ① 国の機関
- ② 地方公共団体
- ③ 独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人
- ④ 国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人
- ⑤ 地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人
- ⑥ 特殊法人(特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であって、総務省設置法第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう。)又は認可法人(特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう。)

(評議員の任期)

- 第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬等)

- 第13条 評議員は、無報酬とする。

## 第5章 評議員会

(構成)

- 第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

- 第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びにこれらの附属明細書の承認
- (3) 定款の変更
- (4) 残余財産の処分
- (5) 基本財産の処分又は除外の承認
- (6) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

- 第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

- 第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。

- 2 評議員は、代表理事に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

- 第18条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) 基本財産の処分又は除外の承認
- (4) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

- 第19条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 評議員会において選定された議事録署名人は、前項の議事録に記名押印する。

## 第6章 役員

### (役員設置)

第20条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上17名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を代表理事とし、代表理事以外の理事のうち1名以上2名以内を業務執行理事とする。

### (役員選任)

第21条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

### (理事の職務及び権限)

第22条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 代表理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 代表理事及び業務執行理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

### (監事の職務及び権限)

第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

### (役員任期)

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

### (役員解任)

第25条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

### (役員報酬等)

第26条 理事及び監事は、無報酬とする。

### (顧問)

第27条 この法人には任意機関として、顧問を若干名置くことができる。

2 顧問は、学識経験者のうちから理事会において任期を定めた上で選任する。

3 顧問は代表理事の諮問に応え、代表理事に参考意見を述べることができる。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

## 第7章 理事会

### (構成)

第28条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

### (権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 代表理事及び業務執行理事の選定及び解職

### (招集)

第30条 理事会は、代表理事が招集する。

2 代表理事が欠けたとき又は代表理事に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

### (決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

### (議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第8章 定款の変更及び解散

### (定款の変更)

第33条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条及び第11条についても適用する。

### (解散)

第34条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

### (公益認定の取消し等に伴う贈与)

第35条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義

務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第36条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第9章 維持会員

(維持会員)

第37条 この法人は、この法人の趣旨に賛同し、後援する個人又は団体を維持会員とすることができる。

2 維持会員は、この法人に会費を納めることとし、会費の基準及びその他維持会員に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 第10章 公告の方法

(公告の方法)

第38条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する。

## 附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の代表理事は青山勲とする。

4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。  
伊藤國彦、大山健二、北川文夫、小橋賢之、近藤紗智子、田中敦子、田中照周、日野進一郎、檜山伸吾、平田まき子、平林明成、福留正治、藤田賢治、山崎晶弘

5 この法人の最初の業務執行理事は榊誠司、梅崎一夫とする。

### ◆会員募集中！

是非会員となってご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### ●年会費1口は

(1口以上の納入をお願いいたします)

- ・個人・団体・公益法人：2,000 円
- ・企業・協同組合：20,000 円
- ・学生：無料(対象は大学生・大学院生・高校生、但し就職時は対象外)

### ●会費の振込先

- ・口座名義  
「公益財団法人おかやま環境ネットワーク」
- ・銀行口座 中国銀行 奉還町支店  
普通口座 1757367
- ・ゆうちょ銀行口座  
01300-8-66727

### ◆メールニュース(毎月第2・第4水曜日発行)で、各種企画のご案内ができます！

メールニュースには、おかやま環境ネットワークの企画情報や、会員団体等のイベント情報を掲載しています。

各種企画等の案内配信希望の方は、メールにて、件名を『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、所属団体・会社名(任意)、企画名、日時、場所、参加費、申込先・締切日等を送信してください。

随時掲載させていただきます。



大野川・筍掘り



村田ビオトープセミ抜け殻調べ



龍泉寺・湿原見学



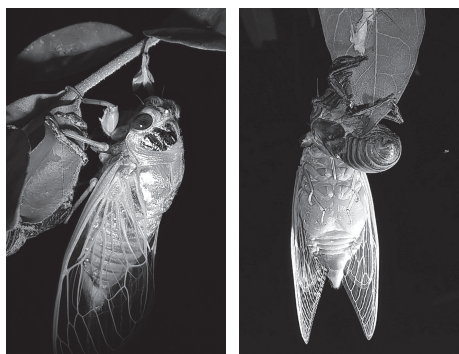
大野川・川あそび



村田製作所ライトトラップ



大野川・川あそび



セミ羽化



神内小学校アマモ播種ポット作成教室



日生・アマモ種まき



邑久町・扇海岸海ごみ回収体験



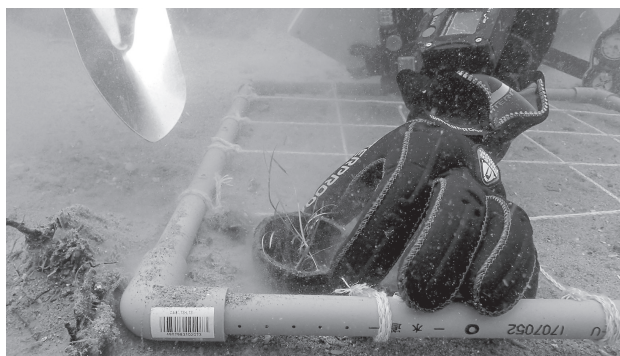
大野川・いきもの調査



笠岡神島・アマモ定植



大野川・いきもの調査



日生・アマモ潜水定植



美咲町・田んぼビオトープ



だがしおじさん



### おかやま環境ネットワークロゴマーク

「おかやま環境ネットワーク」の頭文字をひらがなの『お』をモチーフにして、  
環境の青空と若葉を融合し活動を分かりやすく表現しています。  
未来に豊かな自然、より良き環境を残したいものです。

## 公益財団法人 **おかやま環境ネットワーク**

Okayama Environment Network Foundation

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)

FAX : 086-256-2565

携帯電話 : 070-2355-1420

E-mail : [kankyounet@okayama.coop](mailto:kankyounet@okayama.coop)

HP : <https://okayama.coop/kankyounet/>

Facebook : 公益財団法人おかやま環境ネットワーク

おかやま環境ネットワーク

検索